



月と金星をみよう！

4月の観察会では金星とすばる（プレアデス星団）が近くにいたが、金星は現在おうし座を
通り過ぎ、ふたご座の足元に位置している。

<探し方>

暗くなってくると、西の方の空にほかの星と段違いに明るい星がみえてくる。これが金星だ。

今日は金星のすぐ上に、微笑んだ口元のようにとても細い弧を描いた月が出ている。

2つの天体の左上には木星もみえている。



5月19日20時00分ごろの空 (StellaNavigator/アストロアーツ)

☆惑星たちの位置関係

惑星は星座の間を移動しているようにみえる。

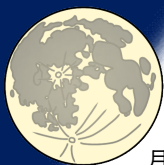
移動スピードは惑星によって異なり、太陽の近くを公転する星ほど速く動いてみえる。

6月9日ごろには、2つの惑星はかなり近づいてみえるため、そのころにも注目して空をみてみよう！

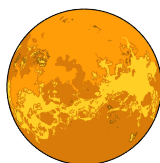
双眼鏡や低倍率の望遠鏡なら視野内に同時に2つ、みられるかも……？

☆月

- 地球のまわりを回る星で「衛星」のひとつ
- 白っぽい岩（斜長岩）と黒っぽい岩（玄武岩）できている
- 表面には無数のクレーター（隕石が衝突してできた穴）がある。大きさや穴の深さは様々だが、直径500km以上（裏面にあるヘルツシュプルングクレーター）のものや、深さ9km（南極にあるエイトケン盆地）のものもある



月◎松谷



金星◎松谷

☆金星

- 明け方にみえる期間と宵のころにみえる期間が交互にやってくる。
- 9月ころまでは宵の空で楽しめる
- 地球からみえる星の中で3番目に明るい（1位：太陽、2位：月）
- 大きな望遠鏡では、月のように形が変化してみえる（詳しくは、次回の観察会プリントを確認してね！）

6月観察会のおしらせ

6月は2回行います！

【2026年6月9日（火）】

19：30～21：30（最終受付21：00）

テーマ「金星・木星」

【2026年6月21日（日）】

15：00～17：00（最終受付16：30）

テーマ「夏至の太陽・昼間の星」